

INFORMATION *Circular*

JAPANESE SOCIETY OF DEVELOPMENTAL BIOLOGISTS

■第40回運営委員会報告	事務局	1
■決算報告および予算案	事務局	2
■DGD編集局より	米田満樹・加藤憲一	5
■公募のお知らせ		6
■講演会・研究会の案内		7
■日本学会会議だより		9
■会員異動		11

NO.62

MARCH 1989

日本発生生物学会

〒194 東京都町田市南大谷 11

三菱化成生命科学研究所発生生物学研究部

会 長：〒 160 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
早稲田大学教育学部 生物学教室
安増郁夫（電話 03-203-4141 内線3911）

DGD編集主幹：〒 606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部 動物学教室
米田満樹（電話 075-753-4082）

DGD編集幹事：〒 543 大阪市天王寺区南河堀町
大阪教育大学 生物学教室
加藤憲一（電話 06-771-8131 内線251）

事務局：〒 194 町田市南大谷11
三菱化成生命科学研究所 発生生物学研究部
（幹事 長） 東中川 徹（電話 0427-24-6244）
（庶務幹事） 北村 邦夫（電話 0427-24-6294）
（会計幹事） 加藤 由宇子（電話 0427-24-6250）

学会センター：〒 113 文京区弥生2-4-16
学会センタービル内日本学会事務センター
日本発生生物学会係（電話 03-817-5801）

入退会、会費納入、および出版物（DGD、サーキュラー等）の郵送については、上記学会事務センターに書面で御問合せ下さい。

◎ 事務局よりお願い

既にお手許に学会費振込用紙が届いていることと存じますが、現在本年度学会費を受付けております。

お早めに御入金下さいますようお願い申し上げます。振込用紙の紛失、納入済か否か不明の場合等、学会事務センターまでお問い合わせ下さい。

第40回 運営委員会報告

第40回運営委員会は、1989年1月20日午後1時より三菱ビル会議室において開催された。出席者は以下の通り（敬称略）

安増郁夫（会長）、岡田節人、岡田益吉、酒井彦一、嶋田拓、東中川徹（兼幹事長）、星 元紀、山上健次郎、山名清隆、米田満樹（兼編集主幹）（以上運営委員）、加藤憲一（編集幹事）、片桐千明（次期大会準備委員長）、北村邦夫（庶務幹事）、加藤由宇子（会計幹事）

1. 会長挨拶

2. 庶務報告

- ・会員数796名（正会員715名＋学生会員81名）（1988年12月31日現在）。

- ・サーキュラー60号および61号発行。

- ・東レ研究助成、Brain Science 研究助成、Brain Science 海外派遣助成の候補者として各1名推薦。

3. 会計報告

- ・1988年度決算報告および1989年度予算案が提出され審議された（本サーキュラー2～4ページ参照）。

4. 会計監査委員選出

- ・中辻憲夫氏および枘内新氏を選出。

5. 編集局報告

- ・DGD32巻2号を、故加藤淑裕特別記念号にする。

- ・Associate Editor の設置に関し議論され、継続審議することになった。

6. 学術会議報告

サーキュラー60号、61号および本号の「日本学術会議だより」参照。

7. 大会準備状況報告

- ・順調に準備されている旨、報告された。

8. 次々期大会開催地について

- ・広島大学理学部動物学教室に大会準備をお願いし、同教室の天野実氏の承諾を得た。

1988年度決算および1989年度暫定予算案

1988年度決算（一般会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
学会費	7,212,500	DGD印刷費	9,950,000
DGD売上	3,846,938	DGD編集費	1,710,000
英文校閲料	197,000	英文校閲費	500,000
バックナンバー	16,200	学会事務センター	
文部省助成金	4,360,000	業務委託費	1,135,388
超過ページ代	818,170	発送費	969,258
広告代	673,400	諸経費	119,683
賛助会費	260,000	DGD保管料	109,200
雑収入	32,200	大学印刷	
利息	1,674	発送費	631,030
		別刷代	511,200
		サーキュラー印刷費	418,000
		要旨集印刷費	700,000
		大会援助費	250,000
		運営委員会経費	325,180
		事務局諸経費	194,112
		選挙費用	251,900
		その他	52,500
特別会計より借入	500,000	送金手数料	2,400
小計	17,918,082	小計	17,829,851
前年度繰越金	501,789	次年度繰越金	590,020
前受会費	82,000	前受会費	82,000
合 計	18,501,871	合 計	18,501,871

1988年度決算（特別会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
寄付（成茂基金）	500,000	旅費援助	200,000
寄付（63年度山形大会）	473,706	送金手数料	600
テレホンカード売上	19,000	一般会計へ貸出	500,000
小計	992,706	小計	700,600
前年度繰越金	2,985,092	次年度繰越金	3,277,198
テレホンカード在庫分	343,000	テレホンカード在庫分	343,000
合 計	4,320,798	合 計	4,320,798

<一般会計の部>

一昨年度に比べ増収または支出減となった要因としては、学会費の値上げによる増収、文部省助成金の増加、DGDの著者より支払っていただく英文校閲代による収入、DGD編集費をおさえていただいたことがあります。一方減収または支出増の要因としては、円高のためのDGD売上の減少、広告代等の未収金による収入減、DGD超過頁代が30巻1号より事実上なくなったことによる減収、DGDページ増による印刷費の増加、1988年度の2回の選挙のため、学会事務センター関係も含めた支出増があります。以上の要因より1988年度決算は約50万円の赤字となり、その赤字分を特別会計からの50万円の借入という形で処理してあります。

<特別会計の部>

山形大会より寄付をいただきました。また、1988年度成茂基金50万円のうち30万円は1989年度の国際発生物学学会議への旅費援助にあてる予定ですので、1988年度は20万円のみの支出となりました。一般会計の項で述べましたように、特別会計より50万円を借出しています。

1989年度 暫定予算案（一般会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
学会費	7,200,000	DGD印刷費	10,250,000
DGD売上	3,000,000	DGD編集費	2,400,000
英文校閲料	200,000	英文校閲費	500,000
バックナンバー	15,000	学会事務センター	
文部省助成金	4,360,000	業務委託費	1,000,000
超過ページ代	0	発送費	760,000
広告代	775,000	諸経費	150,000
賛助会費	340,000	DGD保管料	120,000
雑収入	30,000	大学印刷	
利息	1,500	発送費	700,000
		別刷代	660,000
		サーキュラー印刷費	430,000
		要旨集印刷費	800,000
		大会援助費	250,000
		運営委員会経費	300,000
		事務局諸経費	250,000
		送金手数料	2,400
		選挙費用	0
特別会計より借入	2,500,000	旅費援助	100,000
小計	18,421,500	小計	18,672,400
前年度繰越金	590,020	次年度繰越金	339,120
合 計	19,011,520	合 計	19,011,520

1989年度 暫定予算案（特別会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
寄付（成茂）	500,000	旅費援助	800,000
寄付（DGD基金）	1,000,000	送金手数料	3,000
		一般会計へ貸出	2,500,000
小計	1,500,000	小計	3,303,000
前年度繰越金 （テレホンカード在庫分を含む）	3,620,198	次年度繰越	1,817,198
合 計	5,120,198	合 計	5,120,198

<一般会計の部>

1988年度と比較して増収または支出減が予想されるのは選挙に関わる経費で、いくつかの関連した項目で支出減が見込めます。一方減収または支出増の要因としては円高およびアカデミックプレス社側の料金未納者精算による一時的契約数の減少（DGD売上の減少）、超過頁代がほぼなくなることで、広告代の減少、A4判化および新税制導入によるDGD印刷費の増加、昨年度DGDは編集費を抑えすぎたため編集局が事実上の赤字となってしまったため、DGD編集費の増額が考えられます。

以上のように1989年度は昨年度よりさらに財政は逼迫することが予想され、赤字額としては約250万円と考えています。この赤字分は、昨年度同様特別会計より借入という形で処理する予定です。

<特別会計>

DGD基金として100万円の収入が予定されています。また国際発生物学会議への旅費援助金として本年度は80万円が予定されています。先にも述べましたとおり、一般会計の赤字分250万円を貸出す予定になっています。

DGD編集部より投稿者へ

編集主幹 米田 満 樹

編集幹事 加藤 憲 一

新しいA4版のD.G.D.はもう1号がお手元に届いたと思います。2号は4月に出版します。全体のできばえについてのご批評をお聞かせ下さい。

1. 御覧のように、表紙に写真をいれています。これからのご投稿に当たって、研究内容に則した写真を「表紙用」の写真の候補としてお送り下さることを歓迎します。これらの写真が、何を主張しているのかを（日本語で結構です）メモして添えて下さい。写真のサイズは1号の表紙と同じでタテ13cm、横10cmです。必ずしも写真でなくても、美学的なイラストレーションでも結構です。複数の候補の中から選ぶのは編集部におまかせ下さい。
2. 大型化に伴って投稿規定の一部、特に図のサイズについての規定を変えました。サーキュラー61号に書いたとおり、写真や図は、原則的にシングルコラム幅（80mm）で（これにより大きいのは縮小して）印刷する方針ですからご承知下さい。どうしてもダブルコラム幅（167mm）が必要な組写真・組み図の場合も、無駄なスペースがないように縦横の長さの比などを考慮して構成を工夫して下さい。なお、1ページ大の大きな図であっても、説明文は、同じページの中に印刷します。説明文の長さによっては、写真の方を縮小して（図と説明が同一ページに収まるよう）印刷しますからご了承下さい。間のびしている写真も縮小して印刷します。周辺部に広々と無駄なスペースのある写真は編集部がトリミングします。その他、論文採択のあとで、編集幹事より線画や写真の手直しを著者をお願いすることもあります。

以上は、図の製版による出版費用の増大を抑えたいのと、コンパクトで情報密度の高いものの方が、でき上がった論文の美学にもかなうと考えているためです。なお、現在の印刷技術では、写真でも線画でも製版費は同程度です。グラフ等の製作にあたってはコンパクトな構成をお願いします。

3. 本文中で図や表を引用するのを忘れていたり、又はそれらの番号とは違う順序で引用されたりする方が時々おられます。投稿規定中に、「図や表を挿入すべきおよその位置を原稿の余白に鉛筆で記入すること」と指示しているのは、それらのケアレスミスに著者自身が気がついて頂くための注意です。この規定はぜひお守り下さい。
4. 文献リストの著者名の記載は、例えば Suzuki, J. and K. Ito のように、2番目以後の著者はイニシャルを先にして下さい。
5. グラフや写真にラベルを入れる作業は編集部で行うこともできます（サーキュラー61号参照）

国外からの投稿がふえていく傾向がまだ続くようです。国内の、特に会員の皆様からの、一層のご寄稿をお願いいたします。

加藤淑裕先生記念論文の寄稿について

加藤淑裕先生が昨年4月御逝去されました。先生は日本発生生物学会の前会長をつとめられ、その他数々の面で学会のために御尽力下さいました。日本発生生物学会では先生の御功績を記念して、Development, Growth and Differentiation に記念論文を掲載することに決めました。

一つは、招待論文のみからなる記念号(1990年第2号の予定; 記念号編集委員が先生の研究分野から国内外約20名を選び寄稿を依頼する)であり、他の一つは、regular issues の中に先生に dedicate する論文をも掲載するものです。

会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

《要 項》

1. 記念論文として寄稿される方は論文第1ページの footnote にその旨を記すこと。
2. 記念論文の受付は1989年11月30日までとする。
3. 掲載までの手続きは、記念論文である理由で特別扱いはしない。
4. 記念論文に関する問い合わせ及び原稿の送り先:

DGD 編集主幹 米田 満樹

〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部 動物学教室

(電話 075-753-4082)

公 募

POSTDOCTORAL RESEARCH POSITION UNIVERSITY OF CALIFORNIA, DAVIS

To study the role of the inositol lipid cascade and intracellular pH and Ca^{2+} changes during frog and mouse egg activation and early pattern formation. Techniques to be applied include Tsien's ratio imaging system for fura-2 and BCECF fluorescence, Ca^{2+} -specific microelectrodes, vibrating probe, patch clamp, HPLC and NMR. This appointment will be for two to three years. Salary: \$22,000/yr. Closing date: May 1, 1989. Please send resume and names of three references to: Dr. Richard Nuccitelli, Zoology Department, University of California, Davis, CA 95616, USA.

An Equal Opportunity/Affirmative Action Employer.

上記の要領でポストドクを公募しています。Dr. Nuccitelli は特に日本からの応募を期待しています。希望する方は直接、Davis の方に書類をお送り下さい。

清水 隆, 北大・理・動物

加藤淑裕博士追悼講演会

日 時 1989年4月26日(水)

講演会 13:00~17:15

懇談の集い 17:30~19:30

会 場 学生会館本館

東京都千代田区神田錦町3-28

電話 03-292-5931

交 通 地下鉄

都 営 線 神保町駅下車徒歩1分

東 西 線 竹 橋駅下車徒歩6分

半蔵門線 神保町駅下車徒歩5分

- I 開会の辞にかえて 今堀 和友
13:00~ (三菱化成生命科学研究所長)
- II 加藤さんの思い出 団 勝磨
13:30~ (都立大学名誉教授)
- III 器官形成における上皮-間充織間の相互作用 水野 丈夫
14:00~ (帝京大学教授)
- IV 組織特異的遺伝子の転写を制御する因子 鈴木 義昭
15:00~ (基礎生物学研究所教授)
- V マウスの初期発生と胚操作 花岡 和則
15:45~ (神経センター神経研究所室長)
- VI 発生生物学ことはじめ—淑裕兄の学んだ頃のアメリカをしのんで— 岡田 節人
16:30~ (基礎生物学研究所長)

主 催：加藤淑裕追悼記念事業発起人会

共 催：三菱化成生命科学研究所

第12回器官形成研究会のお知らせ

日 時 1989年7月8日(土)

会 場 防衛医科大学校 並木会館

ワークショップ (1) 骨, 軟骨の器官形成

(2) プロテオグリカンの機能

器官形成に関する演題を広く募集いたします。発表時間は一演題30分(講演20分, 質疑応答10分)を予定しています。B5用紙に演題名, 発表者氏名, 所属機関を記入のうえ200字程度の抄録を添えて下記にお申込みください。応募演題の一部はワークショップに採用させていただきます。

演題申込み先 〒359 埼玉県所沢市並木3-2

防衛医大整形外科 安井夏生

電話0429-95-1211 内線2345

演題締め切り 1989年3月末日

「第五回初代培養肝細胞研究会」お知らせ

日 時 : 1989年6月8日(木), 9日(金)

場 所 : 三和化学研究所(新大阪駅より徒歩10分)

シンポジウム: 「薬物代謝研究への初代培養肝細胞系の利用」

——問題点, 改良点, 利点——

特別講演も予定しております。

出席, 一般発表申し込みの詳細は下記に郵便にてお問い合わせ下さい。

連絡先 初代培養肝細胞研究会事務所

〒770 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

徳島大学酵素科学研究センター 酵素病理部門

第14期特別委員会の活動始まる

平成元年2月 日本学術会議広報委員会

日本学術会議では、昨年10月の総会において設置された第14期の各特別委員会が活動を始めましたが、今回の日本学術会議だよりでは、これらの特別委員会に加えて、本会議が行っている国際的活動等についてお知らせいたします。

第14期の特別委員会

昨年10月の第106回総会で決定された、日本学術会議の第14期活動計画では、活動の重点目標として、①人類の福祉・平和及び自然との係わりを重視する学術の振興、②基礎研究の推進と諸科学の整合的発展、③国際関係の重視と国際的寄与の拡大、の3本の柱を掲げるとともに、これらの重点目標を踏まえて、多方面の科学者によって構成される日本学術会議にふさわしく各分野にわたって広く対応し、かつ、第14期中に適切な形で報告・提言に取りまとめるべき具体的課題として15の課題を選定している。

この度設置された7つの特別委員会は、上記の具体的課題のうち、従来から常設されている6つの常置委員会（別掲参照）で取り扱うものを除き、かつ、緊急に調査審議を行う必要がある7課題に対応するものである。

各特別委員会の名称及び任務等は次のとおりである。

◆平和及び国際摩擦に関する特別委員会

委員長：川田 侃（第2部会員）

（任務）国際的視野と我が国が置かれている地域的状況や特性を踏まえて、国際摩擦（文化的・政治経済的・技術的等の）の解決と平和に関する総合的な研究の推進の在り方やその体制等について検討する。

◆医療技術と社会に関する特別委員会

委員長：水越 治（第7部会員）

（任務）医療技術の急速な進展は、自然科学の分野だけでなく、人文・社会科学の領域にも種々の問題を提起している。様々な医療技術に係わる社会的側面を総合的に検討する。

◆生命科学と生命工学特別委員会

委員長：井上英二（第7部会員）

（任務）生命科学と生命工学の推進方策を検討するとともに、これらの急速な進歩を踏まえ、それらと人間・社会及び自然との係わりについても総合的に検討する。

◆農業・農村問題特別委員会

委員長：水間 豊（第6部会員）

（任務）農業・農村のもつ食糧生産や環境保全等の多面的機能について、近年の国際的・国内的状況を踏まえつつ、文化・経済・自然・都市との係わりで

幅広く検討する。

◆資源・エネルギー問題特別委員会

委員長：上之園親佐（第5部会員）

（任務）資源・エネルギーの開発と利用の問題を検討する。それに伴う自然及び人間社会への好ましくない影響を防止するという観点からも問題を検討する。

◆人間活動と地球環境に関する特別委員会

委員長：吉野正敏（第4部会員）

（任務）近年、経済社会活動の拡大等を背景に、人間活動が環境に及ぼす影響が地球的規模で広がっており、深刻化する可能性を強めている。このような状況を踏まえ、人間活動と地球環境の問題等を検討する。

◆高度技術化社会特別委員会

委員長：佐藤 豪（第5部会員）

（任務）エレクトロニクス、メカニクス等の技術の発展・普及が社会に及ぼす影響、社会の情報化・技術化と人間との調和等について検討する。また、巨大な技術システムとヒューマン・ファクターとの関連についても安全確保と人間性確保の立場から検討する。

これらの各特別委員会は、発足以来現在までに各々2～3回の会議を開催するとともに、委員会によっては、シンポジウムやヒヤリングを実施して、それぞれの任務に沿った具体的な審議課題や今後の審議計画等について熱心に審議を進めている。今後の審議の成果が大いに期待されるところであり、今後、審議成果が発表され次第、紹介していく予定である。

なお、以上の7つの特別委員会のほかに、先般の総会の申合せにより、本年の4月総会において、人間の科学特別委員会（仮称）を追加設置する予定である。この「人間の科学」については、その具体的検討方法が複雑であるので、あらかじめ若干の整理を行った後に、特別委員会を発足させることにしたものであり、現在、検討会を設置して問題点の整理を行っているところである。

常置委員会

日本学術会議は、別掲の特別委員会のほかに、6つの常置委員会を設置している。各常置委員会は、本会議の目的及び職務・権限に即して、恒常的に調査・審議を進めていく必要がある事項について、個々の委員会の職務を明確にした上で設置されている。各常置委員会の名称と任務等は、次のとおりである。

- 第1常置委員会（委員長：大石泰彦（副会長・第3部会員））
（任務）研究連絡委員会活動活性化の方策及び日本学術会議の組織等に関するものを審議する。
- 第2常置委員会（委員長：星野安三郎（第2部会員））
（任務）学問・思想の自由並びに科学者の倫理と社会的責任及び地位の向上に関するものを審議する。
- 第3常置委員会（委員長：渡邊富士夫（第7部会員））
（任務）学術の動向の現状分析及び学術の発展の長期的動向に関するものを審議する。
- 第4常置委員会（委員長：樋口敬二（第4部会員））
（任務）創造的研究醸成のための学術体制に関すること及び学術関係諸機関との連携に関するものを審議する。
- 第5常置委員会（委員長：市川淳信（第5部会員））
（任務）学術情報・資料に関するものを審議する。
- 第6常置委員会（委員長：染谷恭次郎（第3部会員））
（任務）国際学術交流・協力に関するものを審議する。

これらの常置委員会は、昨年7月、第14期発足の際に、委員を決定するとともに、役員を選出して、直ちに活動を開始した。各常置委員会は、上記のそれぞれの任務に従い、また、前期からの委員会ごとの申し送り尊重しつつ、さらに、第14期の全体の活動計画に沿いながら、第14期の活動方針及び活動計画をたて、それに基づき鋭意活動を進めている。

これらの常置委員会は、第13期には、勧告、要望あるいは見解等を取りまとめるなど多くの成果をあげたが、第14期の活動も注目されることである。

平成元年(1989年)度共同主催国際会議

世界の代表的な科学者が一堂に会し、最新の研究情報を交換する学術関係の国際会議が、我が国でも数多く開催されている。日本学術会議では、これらのうち、毎年おおよそ4件について関係学・協会と共同主催している。平成元年(1989年)度には、次の4国際会議を開催する。

- 第14回高エネルギー加速器国際会議
 - ・開催期間：平成元年8月21日～26日
 - ・開催場所：学園センタービル等（つくば市）
 - ・参加者数：国外 300人、国内 250人、計 550人
 - ・共催団体：（社）日本物理学会
- 第40回国際電気化学会
 - ・開催期間：平成元年9月17日～22日
 - ・開催場所：国立京都国際会館（京都市）
 - ・参加者数：国外 200人、国内 350人、計 550人
 - ・共催団体：（社）電気化学協会
- 第7回国際人工臓器学会世界会議
 - ・開催期間：平成元年10月1日～4日
 - ・開催場所：京王プラザホテル（札幌市）
 - ・参加者数：国外 300人、国内 700人、計 1,000人
 - ・共催団体：日本人工臓器学会
- 第9回結晶成長国際会議
 - ・開催期間：平成元年8月20日～25日
 - ・開催場所：ホテル仙台プラザ（仙台市）
 - ・参加者数：国外 300人、国内 600人、計 900人
 - ・共催団体：日本結晶成長学会、（社）応用物理学会

二国間学術交流事業

日本学術会議では、二国間学術交流事業として、毎年2か国を選んで代表団を派遣している。その目的は、「諸外国における学術研究の動向及び現状を把握するとともに、学術研究に関する基本的、全般的事項について相手国科学者等と意見を交換することにより、我が国の学術の総合的な発展に寄与する。」ことにある。

この事業は、昭和58年度から実施されており、これまでにアメリカ、マレーシア、西ドイツ、インドネシア、スウェーデン、タイ、フランス、大韓民国、連合王国、シンガポールの10か国に代表団を派遣してきた。

昭和63年度は、10月29日から11月7日まで、チェコスロバキア及びポーランドへ、会長以下6名の会員から成る代表団を、また11月27日から12月4日まで、カナダへ、会長以下5名の会員から成る代表団をそれぞれ派遣した。

各代表団は、訪問国において、科学技術政策や教育を担当する行政機関、研究所、大学等を訪れ、関係者との間で学術関係の情報交換を行うとともに、両国の学術研究の問題点等について意見交換を行った。

チェコスロバキア及びポーランドでは、本会議としては初めての社会主義国の訪問であり、各訪問先で、今回の本会議代表団の訪問はこれら2か国それぞれとの間の学術交流について新しい段階を開く契機となり、非常に意義深いものであることが強調されるとともに、政治・社会体制を超えた学術交流の在り方等について、熱心に意見交換が行われた。

カナダでは、各訪問先で、近年の我が国の産業の発展と科学技術の役割の観点から、本会議の役割と活動を含め、我が国の学術体制に関する質問が多く出されるとともに、両国間の今後のより積極的な学術交流・協力をめぐる活発に意見交換が行われた。

今回の成果は、代表団訪問時だけのものではなく、本会議と訪問国関係諸機関との今後の継続的な交流への発展、相互理解の促進・緊密化等の形で現れてくるものであり、我が国の学術研究の国際交流・協力の進展に大きく役立つものと期待される。

「熱工学の研究動向と熱技術の進展」の刊行

本書は、本会議の熱工学研究連絡委員会が、関係学協会の協力の基に刊行した「熱工学白書」ともいべきものである。〔1冊 1,000円（送料 200円）〕

※本書は、〔財〕日本学術協力財団で取り扱っています。

第2・第4土曜日閉庁のお知らせ

「行政機関の休日に関する法律」の施行に伴い、日本学術会議事務局では、本年1月から毎月第2・第4土曜日が休みとなります。御理解、御協力をお願いいたします。

御意見・お問い合わせ等がありましたら下記までお寄せください。

〒106 港区六本木7-22-34

日本学術会議広報委員会 電話 03 (403) 6291

会 員 異 動

<新入会員>

(氏 名)	(所 属)	(住 所)	(①テーマ ②材料)
矢沢 徹	都立大・理・生物	〒158 世田谷区深沢2-1-1	①神経の発生分化に伴う生理機能の発現 ②甲殻類・カエル
千田 耕輔	北里大・衛生・病理	〒228 相模原市北里1-15-1	①肝細胞の酵素発現 ②哺乳類
⑨宮脇 恭史	愛媛大・医・生物	〒790 松山市文京町2-5	①ウニ・ヒトデの発生
浅野 朗	阪大・蛋白質研	〒565 吹田市山田丘3-2	①細胞骨格・膜骨格の分化発生 ②受精卵(ニワトリ, ラット)
木口 憲爾	蚕糸・昆虫農業技術研 遺伝育種	〒305 つくば市大わし1-2	①昆虫発生学 内分泌学 ②カイコ・エビガラスズメ
中村 公章	科研製薬(株)・安全研	〒607 京都市山科区四の宮 南河原町14	①着床前の胚発生 ②マウス
井上 明男	阪大・理・生物	〒560 豊中市待兼山町1-1	①細胞分裂・細胞周期 ②アフリカツメガエル卵
西塚 雅子	順天堂大・医・解剖	〒113 文京区本郷2-1-1	①神経発生 ②ラット脳
佐方 功幸	理研・筑波ライフサイ エンスセンター・分子 腫瘍	〒305 つくば市高野台3-1-1	①初期発生におけるガン 遺伝子の生理機能 ②アフリカツメガエル
⑨金井 克晃	東大・農・家畜解剖	〒113 文京区弥生1-1-1	①始原生殖細胞と体細胞 の相互作用 ②マウス
小林 渡	北大・理・動物	〒060 札幌市北区北10西8	①魚卵の受精, 胚発生の 機構解析 ②シロサケ

<所属・住所変更>

(氏名)	(所属)	(住所)
池上 晋	広大・生物生産・応用生化	〒 724 東広島市西条町下見
仲村 春和	京都府医大・生物	〒 603 京都市北区大將軍西鷹司町13-2
荒木 和男	国立養殖研・育種	〒519-04 度会郡玉城町昼田224-1
山田 雄二	エーザイ筑波研	〒300-26 つくば市東光台5-1-3
茗原真路子	蚕糸・昆虫農業技術研・遺伝育種	〒 305 つくば市大わし1-2
山内 英男	森林総合研・森林生物	〒 305 稲敷郡茎崎町松の里 1
山田 琢磨	東大・理・物理	〒 113 文京区本郷7-3-1
大原たかね	ヘキストジャパン(株)・医薬総研・細胞生物	〒 350 川越市南台1-3-2
高宗 和史	北大・理・動物	〒 060 札幌市北区北10西 8
上野 健寿	中外製薬(株)・富士御殿場研・第3部	〒 412 御殿場市駒門1-135
佐藤 元信	醸酵研	〒 532 大阪市淀川区十三本町2-17-85
大森 丘	東北大・理・生物	〒 980 仙台市荒巻字青葉

<退 会>

伊藤 喬, 磯野直秀, 谷村英紀, 名和三郎, 宮田澄男, 代谷陽子, 前田一郎

〔賛助会員〕

- | | | |
|---|------|---|
| 組織培養はパイレックスコーニングの岩城硝子(株) | 〒100 | 千代田区丸の内3-2-3
TEL 03-214-7401 |
| 生物学・生態学洋書のことならグリーン洋書(株) | 〒211 | 川崎市幸区小倉610-1-506
TEL 044-533-0470 |
| (株)武田薬品工業中央研究所 | 〒532 | 大阪市淀川区十三本町2-17-85
TEL 06-300-6835 |
| 試薬・機器の御用命は名古屋片山化学(株)まで | 〒460 | 名古屋市中区丸の内3-11-4
TEL 052-971-6531 |
| 日製産業株式会社 | 〒453 | 名古屋市中村区名駅4-6-18
(名古屋ビル内)
TEL 052-583-5846 |
| バイオテクノロジーで未来をひらく(株)バイオ科学研究所 | 〒990 | 山形市城西町5-34-5
TEL 0236-44-5030 |
| 発生学をはじめとする生物科学書の出版社・培風館 | 〒102 | 千代田区九段南4-3-12
TEL 03-262-5256 |
| 藤本理化 | 〒113 | 文京区向ヶ丘2-34-12
TEL 03-827-8151 |
| 最良の選択ファルコン組織培養器具ベクトン・ディッキンソン・オーバーシーズ Inc. | 〒107 | 港区赤坂8-5-84 島藤ビル
TEL 03-403-9991 |
| 三菱化成生命科学研究所 | 〒194 | 町田市南大谷11
TEL 0427-24-6226 |
| マウス・モノクローナル抗体(アロ抗体)は明治乳業(株) | 〒104 | 中央区京橋2-3-6
TEL 03-271-4333 |
| 試薬及び理化学機器販売理科研(株) | 〒463 | 名古屋市中村区元郷2-107
TEL 052-798-6151 |
| 科学の技術に奉仕する理工学社 | 〒113 | 文京区本駒込5-9-10
TEL 03-928-5211 |
| 次代を担うバイオテクノロジー和研薬(株) | 〒606 | 京都市左京区北白川西伊織町25
TEL 075-721-0491 |

(50音順)

Jamarin®

■特 長

1. 各元素の含量は外洋水の分析値による。
2. 完全に溶解する。
3. 分割使用できる。
4. 水質は極めて安定で自然海水のようなバラツキがない。
5. 経時変化しない。
6. 研究の目的により色々な種類がある。
7. 殆んどすべての海の生物に使用できる。

■主要元素の含量(g/l)

Cl	16.947	Na	9.311	Mg	1.137
S	0.774	Ca	0.395	K	0.344

■種 類

1. JAMARIN U(一般用)
極めて易溶、Triple strengthまで溶解可能。
ウニ囊胚形成率 *Anthocidaris crassispina* ...98%
2. JAMARIN S(滅菌用)
オートクレーヴィングにより濁りや、沈澱を生じない。
ウニ囊胚形成率 *Anthocidaris crassispina* ...96.3%
3. その他のJamarin
Ca-free JAMARIN
Ca, Mg-free JAMARIN¹
Sulfate-free JAMARIN
4. My Sea
ポリ袋入り粉剤だけの人工海水です。実験動物の飼育にお使い下さい。

■価 格 (送料別)

	20ℓ用	5ℓ用	2ℓ用
Jamarin S	2,000	1,000	
Jamarin U	1,600	800	
Ca-free Jamarin		1,500	750
Ca, Mg-free Jamarin		1,500	750
Sulfate-free Jamarin		1,500	750
My Sea	25ℓ用 1,200	(10個単位でお願いします)	

お問い合わせ、ご注文は直接下記へお願いします。

ジャマリン ラボラトリー

〒536 大阪市城東区嶋野西2丁目11番5号 電話 大阪(06)968-3154

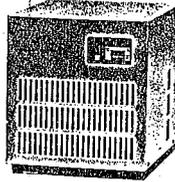
■文 献

1. Jamarin U: Katow, H. (1986) Behavior of sea urchin primary mesenchyme cells in artificial extracellular matrices. *Exp. Cell Res.* 162: 401-410.
2. Jamarin S: Umezawa, H., Okami, Y., Kurasawa, S., Ohnuki, T., Ishizuka, M., Takeuchi, T., Shio, T. and Yugari, Y. (1983) Marinactan, antitumor polysaccharide produced by marine bacteria. *J. Antibiot.* 36: 471-477.
3. Ca-free Jamarin: Shirai, H., Ikegami, S., Kanatani, H. and Mohri, H. (1982) Regulation of sperm motility in starfish. I. Inhibition of movement. *Develop., Growth and Differ.* 24: 419-428.
4. Ca, Mg-free Jamarin: Mitsunaga, K., Fujino, Y. and Yasumasu, I. (1987) Provable role of Allylthiocyanate-sensitive H⁺, K⁺-ATPase in spicule calcification in embryos of the sea urchin, *Hemicentrotus pulcherrimus*. *Develop., Growth and Differ.* 29: 57-70.
5. Sulfate-free Jamarin: Yamaguchi, M. and Kinoshita, S. (1985) Polysaccharides sulfated at the time of gastrulation in embryos of the sea urchin *Clypeaster japonicus*. *Exp. Cell Res.* 159: 353-365.
6. My Sea: Lutz, D.A., Inoué, S. (1986) Techniques for observing living gametes and embryos. In *Methods in Cell Biology* (T. E. Schroeder, ed.), Vol. 27, p. 91. Academic Press.

■ 加熱冷却ユニット

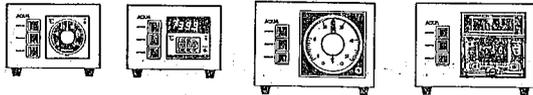
クーラー・ヒーターはチタン製。淡水はもちろん海水や薬品液にも使用できる高性能の循環式小型加熱冷却装置です。

形式	クーラー	ヒーター	概略水量	価格
HC061A-3	65W	300W	120 l	¥196,000
HC101A-3	100W	300W	160 l	¥207,000
HC131A-5	130W	500W	260 l	¥220,000
HC201A-5	200W	500W	360 l	¥237,000
HC301A-5	300W	500W	670 l	¥298,000
HC401A-5	400W	500W	1000 l	¥335,000



■ 温度コントローラー

温度を精度良く一定に保つことができます。循環ポンプなどの使用に便利な予備コンセント付き。警報付きなど各種あります。



形式	設定方式	温度指示	温度目盛	制御方式	価格
TA200※	アナログ	なし	-50 ~ 50°C	比例式	¥26,000
TA201-S	アナログ	全指示	0 ~ 50°C	比例式	¥38,000
TD202※	デジタル	偏差指示	0 ~ 99.9°C	比例式	¥29,000
TA300-S	アナログ	なし	0 ~ 50°C	三位置	¥37,000
TA301-S	アナログ	全指示	0 ~ 50°C	三位置	¥44,000
TD302-S	デジタル	偏差指示	0 ~ 99.9°C	三位置	¥48,000
TD303-S	デジタル	全指示	0 ~ 99.9°C	三位置	¥58,000

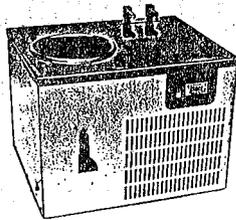
注) 測温抵抗体と併せてご使用下さい。

※印はサーミスター測温体 ¥1,800(空気用) ¥3,000(水用)
無印は白金測温体シース材質 SUS304 ¥7,900 Ti ¥12,000

■ 低温恒温循環水槽

実験台上でも使用できるように極めてコンパクトにまとめた低温恒温循環水槽です。水温は低温から高温までを任意に設定することができます。外部循環機能をそなえておりますので恒温水槽のほか、カラムの冷却、保温など幅広い用途があります。

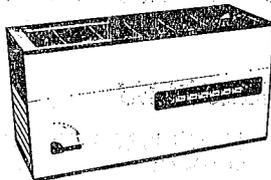
形式: CT 65-300-S
使用温度範囲: 0 ~ 50°C
温度調節精度: ±0.1°C
外形寸法: W420×D330×H340
槽内寸法: φ153×H187
冷凍機: 65W
ヒーター: 300W
価格: ¥250,000



■ 温度勾配装置 (ウォーターバス)

温度調節水槽はそれぞれ独自の温度に設定できます。精度の高い恒温が得られます。温度の設定はデジタル式。振とう装置付きもあります。

形式: TGW-3(三連)/TGW-6(六連)
使用温度範囲: 0 ~ 50°C
温度調節精度: ±0.05 ~ ±0.1°C
槽内寸法: 150×260×150×3/×6
冷凍機: 200W/300W
ヒーター: 90W×3/×6
価格: ¥620,000/¥780,000



■ 恒温コンテナ

蓄冷体の融解速度を微妙にコントロールして恒温を保つ小型の恒温輸送用コンテナです。凍結したら困るあらゆる物体の低温での恒温輸送に威力を発揮します。商用電源、大型バッテリーを使用しないので可動性に富みどこでも使えます。

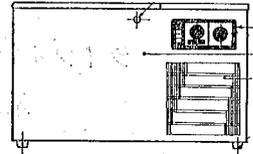
形式: CTC 421
外形寸法: 407×193×H298
庫内寸法: 246×122×H200
コントロー: デジタル設定、デジタル表示
価格: ¥78,900 (蓄冷体-15°C付)



■ 恒温ボックス

四面全面加熱冷却の新方式による高性能の恒温ボックス。庫内は精度よく一定温度に保たれ霜が付かず乾燥しません。

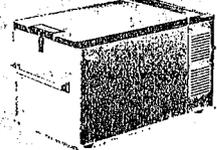
形式: CTA 452-1
外形寸法: W700×D460×H440
槽内寸法: φ380×H350
温度範囲: 10 ~ 40°C
冷凍機: 65W ヒーター: 100W
蛍光灯: 32W タイマー: 24h
価格: ¥350,000



■ ポータブル インキュベーター

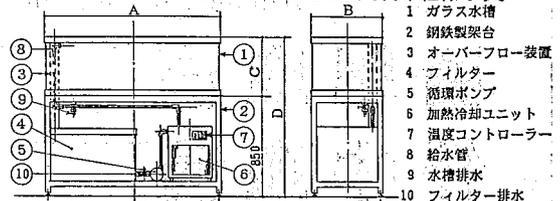
小型軽量、持ち運びが容易です。庫内は精度よく一定温度に保たれます。冷凍機とヒーターを備えていますので庫内を低温(0°C)から高温(40°C)まで任意の温度に設定することができます。電源は交流・直流両用です。車載用として搬送、野外での使用の他研究室内で利用することができます。透明蓋付もあります。

形式: CTH 305
外形寸法: 631×360×H373
槽内寸法: 350×280×H260
価格: ¥187,000(12V用)



■ 水生生物環境調節装置

各種の魚類が飼育できます。各機器はユニット形式を採用。点検管理が容易です。水槽、加熱冷却ユニット、温度コントローラー、フィルター、循環ポンプなどは全て海水仕様です。



形式	水槽	クーラー	ヒーター	価格
ARA 9.5-101A-5	900×500×450	100W	500W	¥459,000
ARA 9.6-131A-5	900×600×600	130W	500W	¥663,000
ARA12.5-131A-5	1,200×500×500	130W	500W	¥678,000
ARA12.6-201A-5	1,200×600×600	200W	500W	¥858,000
ARA15.6-301A-10	1,500×600×600	300W	1,000W	¥1,005,000
ARA15.7-401A-10	1,500×750×750	400W	1,000W	¥1,297,000
ARA18.6-301A-10	1,800×600×600	300W	1,000W	¥1,107,000
ARA18.7-401A-10	1,800×750×750	400W	1,000W	¥1,475,000

三菱化成

なか しべ つ
中標津血清

ライフインダストリーの三菱化成が採血から濾過まで一貫国内生産
最終濾過は孔径0.1 μ mのメンブレンフィルター使用

準胎児血清

生後24時間以内で初乳を飲む前の新生仔牛から採血

新生仔牛血清

生後2週間以内の新生仔牛から採血

成牛血清

1.5才以上の牛から採血

ARMOUR血清

Armour Pharmaceutical Company (U.S.A.) 製造

胎児血清

(Rehatuin® F.S.)

仔牛血清

生後16週間以内の仔牛から採血

何れもロットチェック用サンプルを提供致します。



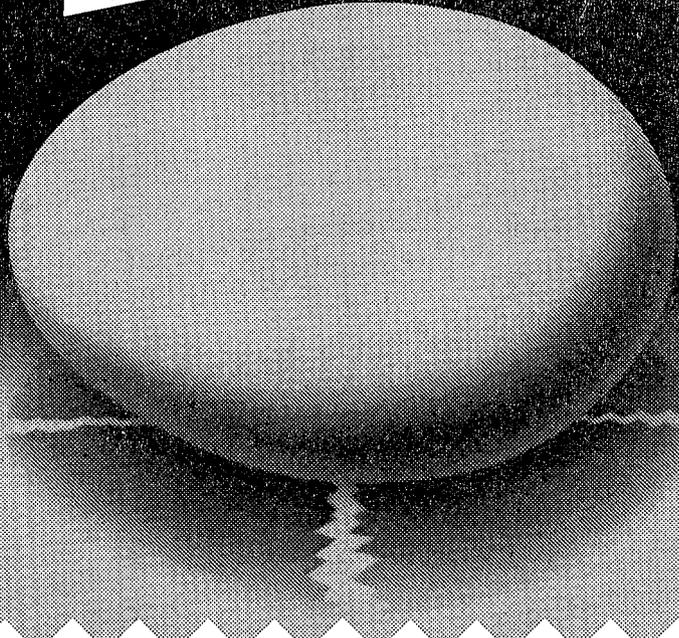
三菱化成工業株式会社 医薬事業部

〒100 東京都千代田区丸の内2-5-2(三菱ビル)
☎03(283)6791(直通)

大阪支店化成品部門
☎06(208)4560(直通)
東京支店化成品部門
☎03(283)6100(直通)

名古屋支店化成品部門
☎052(562)2556(直通)
九州支店化成品部門
☎092(291)8891

増殖 エネルギー



増殖を支える大きな力、組織培養用培地 —— 日水製薬から

■ 高圧蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	イーグルMEM培地①
■ 高圧蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO ₃ ・L-Gln・PR不含	イーグルMEM培地②
■ 高圧蒸気滅菌可能 NaHCO ₃ ・L-Gln・PR・KM不含	イーグルMEM培地③
■ 高圧蒸気滅菌可能、浮遊培養用 KM含有 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	イーグルMEM培地④
■ 高圧蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO ₃ ・ L-Gln・L-Arg・L-Leu・L-Met・L-Phe不含	イーグルMEM培地⑤
■ 高圧蒸気滅菌可能 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	イーグルBME培地
	イーグルMEMアミノ酸ビタミン培地
■ NaHCO ₃ 不含	ダルベッコ変法イーグル培地①
■ 高圧蒸気滅菌可能 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	ダルベッコ変法イーグル培地②
■ NaHCO ₃ 不含	199培地
■ NaHCO ₃ 不含	ハムF12培地
■ NaHCO ₃ 不含	RPM I1640培地①
■ 高圧蒸気滅菌可能 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	RPM I1640培地②

■ NaHCO ₃ 不含	フィットシャーの培地
■ 高圧蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	ES培地
■ NaHCO ₃ 不含	ハンクス液①
■ NaHCO ₃ ・PR不含	ハンクス液②
■ NaHCO ₃ 不含	アール液
	ダルベッコPBS(-)粉末
■ ダルベッコPBS用	金属塩類溶液
■ 無菌凍結乾燥	グルタミン



製造発売元

日水製薬株式会社

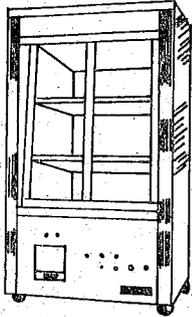
本社 于170 東京都豊島区巣鴨2-11-1

電話 03(918)8166(代)

営業所 東京・関東・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台・札幌

NK式生物研究用機器

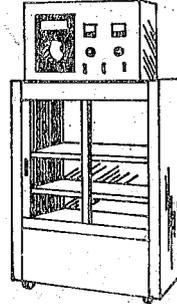
NK式電気低温恒温器 (送風循環型) 高精度普及型



型式	LP-100 -S型	LP-150 -S型	LP-200 -S型
仕様			
内法 開口×奥行 ×高さ%	460×380 ×490	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	26万円	30.5万円	32万円

※その他いろいろなタイプがあります。

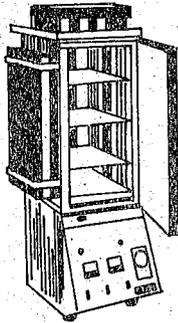
NK式プログラム電気低温恒温器 (送風循環型) 四季の温度がプログラムで自在に再現できます!



型式	LP-150 -3P	LP-200 -3P	LP-300 -3P
仕様			
内法 開口×奥行 ×高さ%	460×880 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	49.8万円	53.5万円	60万円

NK式人工気象器

植物の育成、小動物(昆虫)飼育の本格派!

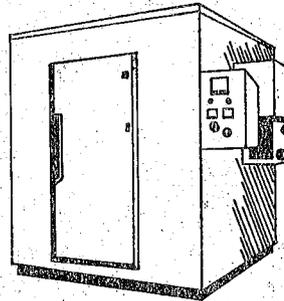


型式	LH-100 -RD型	LPH-100 -RD型	LH-100 -RDP型
仕様			
内法 開口×奥行 ×高さ%	360×350 ×680	360×350 ×680	360×350 ×680
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+10℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	温度のみ 47万円	温・湿 度付 73万円	プログラ ム付 66万円

※その他いろいろなタイプがあります。

NK式プレハブ電気低温恒温槽

組立、移設、増設が思いのまま!



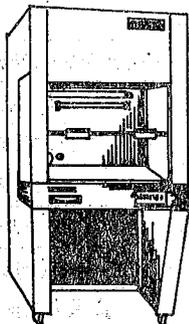
精密型

● LH型+5℃~45℃
価格1坪1,190,000円
より各種

● LP型+18℃~45℃
価格1坪1,290,000円
より各種

※詳細はプレハブシリー
ズカタログをご請求下
さい。

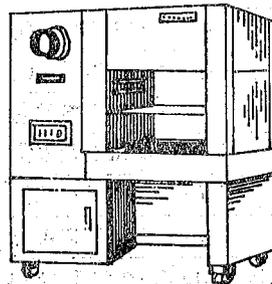
NK式クリーンベンチ (垂直層流型)



NKB-VS-850
¥780,000
NKB-VS-1300
¥880,000

NK式クリーンベンチ (垂直層流両面型)

無菌作業の能率アップに!

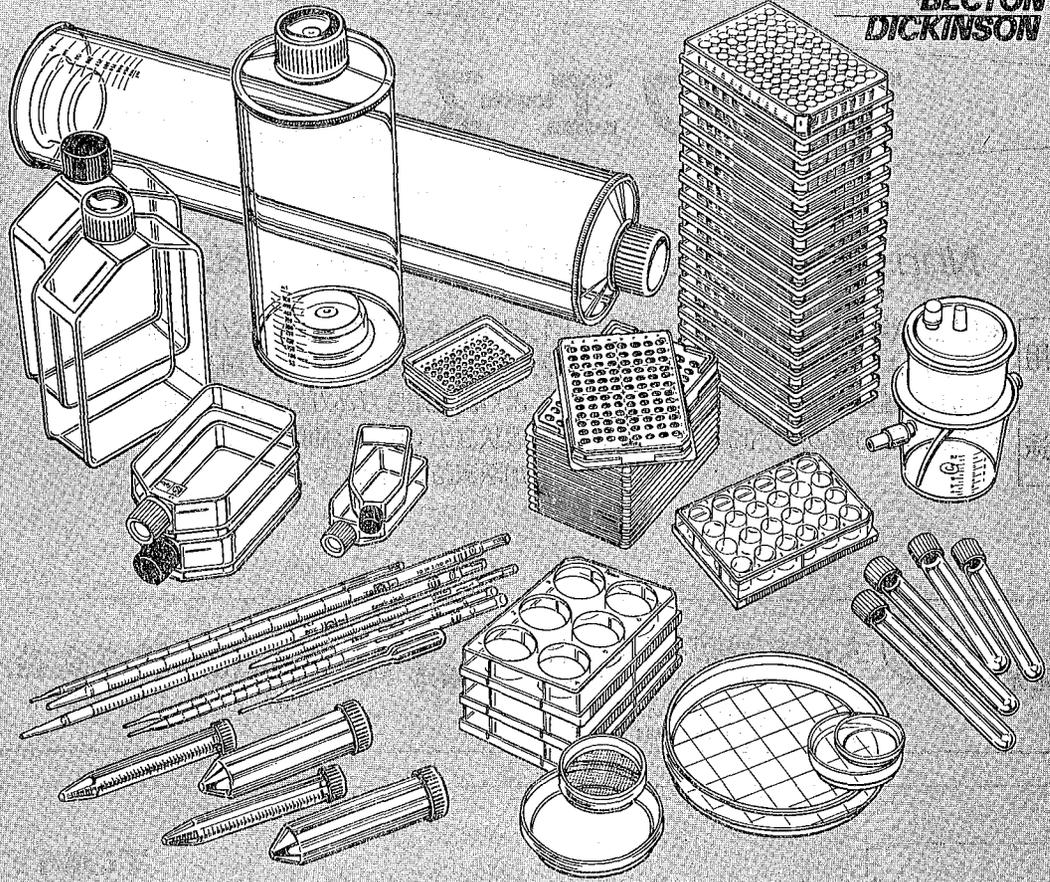


NKB-VW-850
¥1,200,000
NKB-VW-1300
¥1,500,000

NKS 株式会社 日本医化器械製作所

本社 千560 大阪市西区江戸堀1丁目19番24号 電話 大阪 06(443)0712(内)
東京営業所 千183 東京都府中市緑町7053-4 電話 府中 0423(65)3245(内)
工場 千583 羽曳野市駒ヶ谷5番地47号 電話 羽曳野0729(58)1919(内)

**BECTON
DICKINSON**



1957年、組織培養器具にプラスチックの時代が始まった。 ファルコン組織培養器具

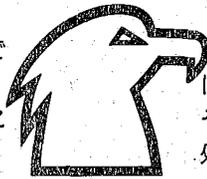
1956年11月、米国Emeryvilleの海軍微生物研究所では、人や動物の細胞をポリスチレン製ディッシュで培養することに興味を示しました。このことにいち早く着目したファルコンでは、プラスチック表面における細胞の付着や増殖について研究を進め、1957年ついに組織培養処理を施した高品質のプラスチック製ディッシュの開発に成功致しました。それは、ガラス製器具の使用にとも

なうさまざまな問題点を一挙に解決し、組織培養の分野に大きな前進をもたらしました。

そして今日まで、ファルコンの活動は、よりすぐれた組織培養器具を開発することに集中しました。

その成果として、最近ではより高度な表面処理を施したプライマリア組織培養器具をお届けすることもできました。

組織培養の進歩とともに、ファルコンは常に新しい可能性をもとめ続けます。



Falcon

輸入販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
Nippon Becton Dickinson Co., Ltd.

〒107 東京都港区赤坂8-5-34 鳥護ビル TEL. 03(403)9991(代)

●B-D、ファルコン、Falcon、プライマリアはベクトン・ディッキンソン アンド カンパニーの商標です。●Becton Dickinson Labwareはベクトン・ディッキンソン アンド カンパニーの事業部です。



製造元

Becton Dickinson Labware

ベクトン・ディッキンソン ラブウェア事業部

Division of Becton Dickinson and Company

Ready for Use の新ブロッキング剤

ブロック エース Block Ace

Non-specific Binding を強力にブロック/そして安価!

用途

- ELISA等のブロッキング
- 試料および標識第2抗体の希釈
- B/F分離等の洗浄
- 生理活性物質の安定化剤

特長

1. ELISA等でバックグラウンドを低く抑えます。
2. BSA溶液をブロッキング剤として用いた場合より測定感度があがり、かつ安価です。
3. 液状なので直ちに使用できます。
4. 加熱滅菌処理済です。

発売元



大日本製薬株式会社

ラボラトリー プロダクツ部

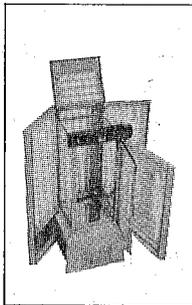
〒564 大阪府吹田市江の木町33-94
TEL 大阪(06)386-2164 (代表)

製造元



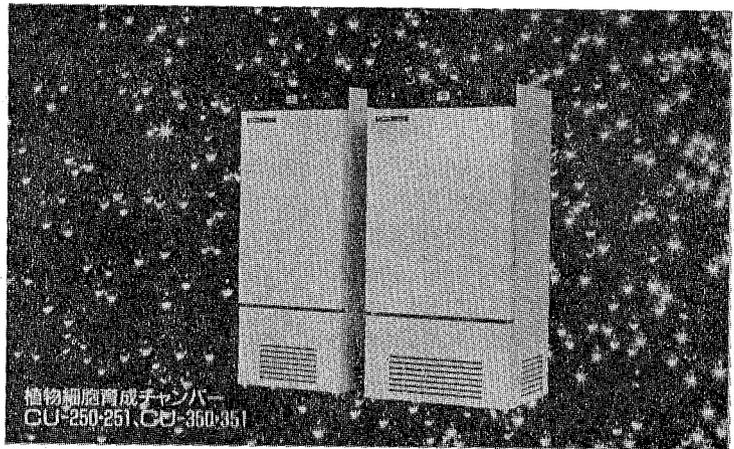
雪印乳業株式会社

〒065 札幌市東区苗穂町6-1-1



□ 今ハイオクの時代を迎えて—
高照度・高精度温度制御。
殺菌灯とフィルターの使用でクリーンな空気が循環。
昼夜の環境を確実に制御できるルカバードタイプ。

植物細胞育成チャンバー



植物細胞育成チャンバー
CU-250/251, CU-360/351

株式会社トミー精工
本社 03-976-9111
札幌 011-742-0000
(松本電機製作所)
筑波 0292-6-0001
大阪 06-63-053333
福岡 092-641-6451
(新興精機内)

● 各種育成機器も同時発売
クリーンベンチ、CO₂インキュベーター、サーキュレーター、シリンダー、オーリンバス倒立型顕微鏡

● 使用温度範囲 +4〜+50℃
● 除菌装置付き空気循環サイクル。
● 室内温度の異常上昇、下降を防止する安全機構。
● プログラム運転が可能なCU1251・351
● 最大照度 庫内容量
250,000lx 2500L
CU1250・251
18,000lx 3500L
CU1350・351

● 5面からの強力照射(植物育成用蛍光灯の使用も可能)。
● 除菌装置付き空気循環サイクル。
● 室内温度の異常上昇、下降を防止する安全機構。
● プログラム運転が可能なCU1251・351
● 最大照度 庫内容量
250,000lx 2500L
CU1250・251
18,000lx 3500L
CU1350・351

TOMY

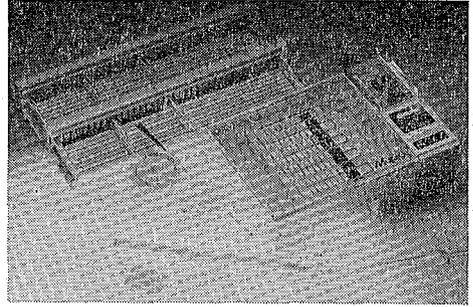
Mupid-2®

ミニゲル電気泳動システム《ミューピッド-2》

ミューピッド-2は、泳動槽・パワーサプライ・ゲルメーカーセットを組み合わせたコンパクトな電気泳動システムです。核酸・タンパク質など様々な泳動が可能です。

- お一人に一台以上。
- 安全、軽量、簡単な操作。
- 学生の実習用など教材としても最適。

※ 部品の別売もしております。

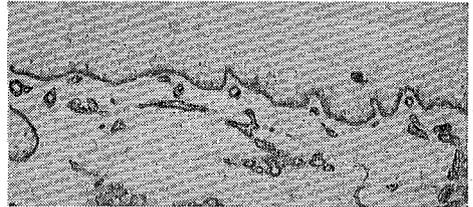


超安価 **¥29,800**

(PAGE調製用カバー、電源及びゲルメーカーセットを含む)

Didets® (抗血清シリーズ)

- 全血清(留分)の凍結品、高力価。
- 細胞骨格タンパク質、ホルモン、酵素等に豊富な商品群。



染色例：Type IV Collagen (Bovine Skin)

※ Didetsは、(株)アドバンスが製造した免疫研究用試薬に対する登録商標です。

〔シリーズ品〕	〔抗原〕	■ は新製品
細胞骨格タンパク質	(ウシ)タイプI~IVコラーゲン、(ヒト)タイプIV~Vコラーゲン、(ラット)タイプIコラーゲン、ラミニン、フィブロネクチン、アクチン、ミオシン、チューブリン	
ホルモン	LH-β、HCG、プロラクチン、ACTH、α-MSH、β-MSH、α-エンドルフィン、β-エンドルフィン、メチオニン・エンケファリン、ソマトスタチン、サブスタンス-P、ニューロテンシン、VIP、カルシトニン、ガストリンI、S-100タンパク	
酵素	カーボニック・アンヒドラーゼ、グルタマイト・デカルボキシラーゼ、グルタマイト・デヒドロゲナーゼ、ブチル・コリンエステラーゼ、アルカリ・フォスファターゼ、Na-K-ATPase	

(免疫動物はすべてウサギです。)

※ 製品についての詳細は下記までお問い合わせ下さい。

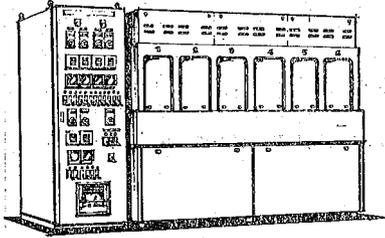
製造元  **株式会社アドバンス** 〒103 東京都中央区日本橋小舟町5-7 ☎03(667)1551(代)

総販売元  **コスモ・バイオ株式会社** 〒103 東京都中央区本町4-13-5 第20中央ビル ☎03(663)0723

Aquorex

研究に應える設備です

研究者のニーズにどう対応できるか——できるかさりの努力をする
べきだと考えています。多機種の内から一部製品をご案内いたします。



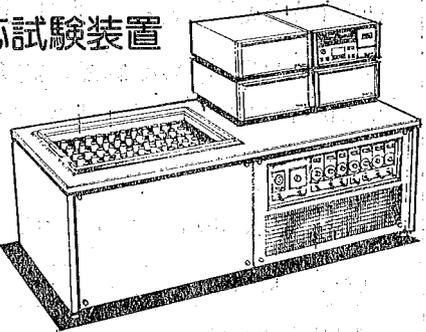
低温水棲生物生理実験装置

低温水棲生物の生理実験用装置。極寒冷地の植物性・動物性プランクトン、ウニ、ヒトデ、ベントス等に最適。水槽・温度調節装置・照明装置を装備。6槽分離独立。温度制御範囲は -5°C ～ $+30^{\circ}\text{C}$ 。照明装置（クールレイランプ、熱線吸収ガラス使用。高照度30,000 Lux。照度・照明時間の自由設定可能。

TG6-1500

卵稚子温度反応試験装置

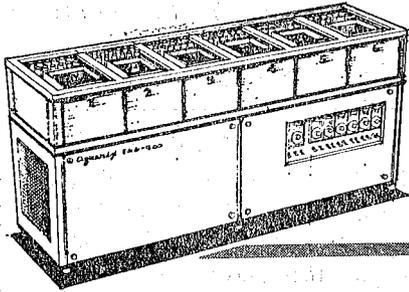
水生生物の卵・稚子の環境温度に対する反応研究用に最適の装置。試験管88本により環境温度勾配を広範囲に一定保持。実験対象の各部位置温度を時間経過に従って記録。照度も自由に選べる照明装置。小型多点温度記録装置が特長です。



TG11-8

卵稚子温度反応試験装置用馴致装置

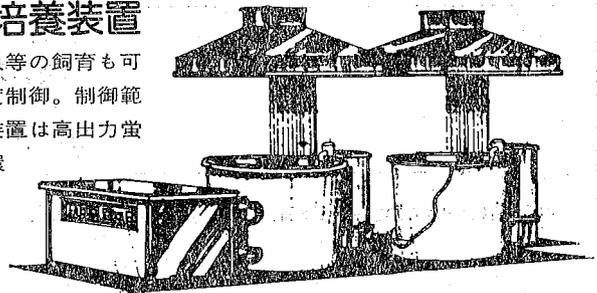
卵稚子温度反応試験装置（TG11-8）の馴致用装置。本装置は6槽に分離独立。水槽ごとに温度設定が可能。各槽ごとの試験管挿入可能。卵稚子を反応装置（TG11-8）に入れる前準備に、また分類作業に最適。温度制御は正確・広範囲に温度設定が可能。



TG6-300

プランクトン培養装置

動植物性プランクトンの海水培養用装置。幼魚・稚魚等の飼育も可能。2ポリエチレン円形2重水槽。外側槽による温度制御。制御範囲 $5\sim 35^{\circ}\text{C}$ 。ヒーター・クーラー自動切換式。照明装置は高出力蛍光灯。光量調節・照明時間の自由変更可能。海水循環酸素補給・水質維持装置付。



AR11D-1500

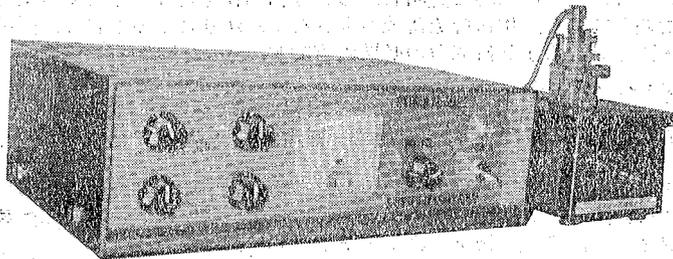
株式会社 **アクアレックス**

〒143 東京都大田区中央2丁目2番6号

お問合せ
ご相談はお気軽に ☎ 東京 03(778)0202

酸素電極による呼吸測定装置 (溶存酸素による呼吸測定装置)

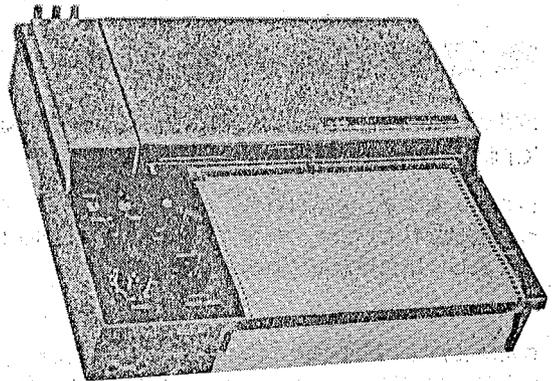
ミトコンダリア及び細胞懸濁液の溶存酸素減少による呼吸率の測定は、古くから行なわれて来ました。懸濁液を入れる密封容器の取扱いはかなりむずかしく、その容器の変更も困難でしたが、この容器は1.5ml~5mlまでの容量の変更が容易であり、試薬を懸濁液に投入したり、懸濁液の一部を密封状態のまま取り出す事が出来ます。セルはウォータージャケットがついていますので精密な温度コントロールが出来、フルスケール10mVの記録計に接続しても御使用できます。



S-1 溶存酸素測定装置

記録計

1mV~10V
フルスケール全幅移動可能
400K Ω ~無限大(レンジによる)
250mm幅
6段変速(標準最少2.5mm/min)
AC100V 50~60Hz



 信誠理化学器械株式会社

〒112 東京都文京区後楽2-21-14

TEL (03) 815-3066(代)

FAX (03) 815-3231

新刊!! 哺乳動物によるバイオテクノロジー!

マウスのテラトーマ

— EC細胞による哺乳動物の実験発生学 —

A5判・296頁
定価 3800円
送料 300円

テラトーマの生物学的な知識、EC細胞の種類と成立、EC細胞を用いた初期胚の細胞生物学・分子生物学的研究、EC細胞のキメラ動物への応用などについて、研究の進展を紹介し、その理論と実験技術を解説。医学・生物学・薬学など発生学、遺伝学に関心を持つ方がたの絶好の参考書です。

国立遺伝学研究所 森脇和郎 / 序
前国立遺伝学研究所 野口武彦 / 編集
鹿児島大学教授 村松 喬

哺乳動物の初期発生

— 基礎理論と実験法 —

B5判・480頁
定価 12000円
送料 400円

初期発生の基礎理論をはじめに説明し、ついで初期胚を研究対象とする主要な実験研究法を解説してある。生命現象研究へ大きな手がかりとなる本書は、医学・生物学・農学・薬学を専攻する研究者の必携の書です。

岡山大学 妹尾左知丸 三菱化成生命研 加藤淑裕
京都大学 入 谷 明 慶応義塾大学 鈴木秋悦
東京大学 館 鄰 — 編集 —

体細胞遺伝学

A5判・720頁
定価 9800円
送料 400円

HVJによる細胞融合法、薬物や放射線、化学物質を用いた細胞の突然変異による研究、あるいは遺伝子組換え法を使った研究等体細胞遺伝学研究の最前線をまとめたモノグラフィー。医学・生物学・農学・薬学研究に絶好の参考書です。

東北大学 山根 績 大阪大学 岡田善雄 / 編集
前金沢大学 堀川正克 東京大学 黒木登志夫

理工学社

〒113東京都文京区本駒込5-9-10 振替東京1-34676 電話03(828)5211(代) <図書目録進呈>

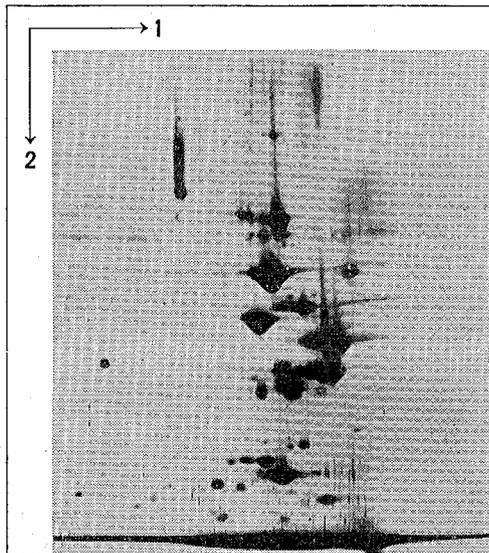
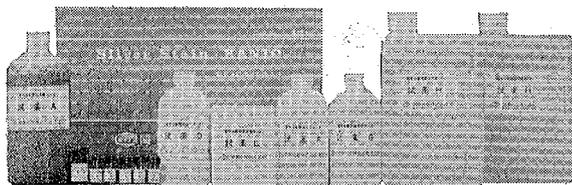
Silver Stain KANTO

電気泳動用銀染色キット

シルバーステインKANTOは、蛋白・核酸を高感度で簡単に検出できます。

シルバーステインKANTOは、現像が緩やかにすすむように調製されています。現像停止のポイントを判断しやすく美しい染色像が得られます。

Cat.No.57650 **Silver Stain KANTO**
電気泳動用銀染色キット・シルバーステインKANTO
スラブゲル (140mm×140mm×1.0mm) 25枚分



O'Farrell 2D-electrophoresis (一次元目はNEPHGE(1)、二次元目は、SDS/PAGE(2))。試料は、筋蛋白 5 μg。

関東化学株式会社 試薬事業本部

103 東京都中央区日本橋本町3-2-8 03(663)7631
541 大阪市東区瓦町3丁目1番地 06(222)2796

自然科学関係の定期刊行物・全集・叢書・単行本等輸入販売

アカデミア洋書株式会社

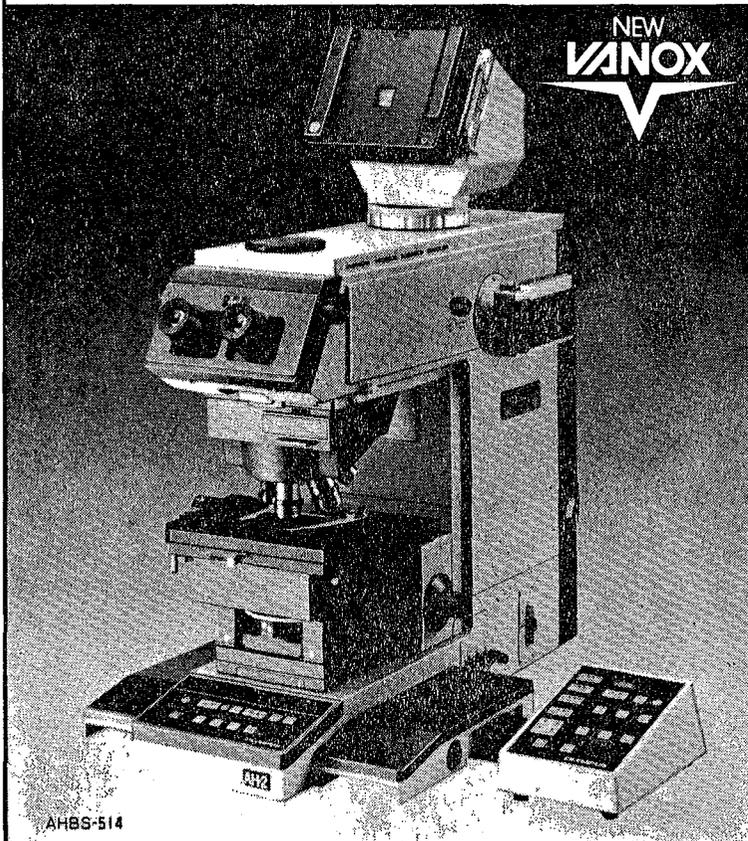
☎ 113 東京都文京区本郷 2-39-6 大同ビル (☎ 813-9805/FAX 812-8509)

カタログ 3月号から

- | | |
|---|-----------|
| 1. Cell to Cell Signals in Mammalian Development.(by S.W. De Laat)
335p, '89 | ¥23,760._ |
| 2. Atlas of Sperm Morphology. (by M.M. Adelman & Cahill, E.M.)
115p, 163 illus. Dec.'88 | 15,800._ |
| 3. B Cell Development.(U.S.M.C. 85)(Ed. by D.N. White et al.)
269p, '89 | 13,800._ |
| 4. Bioprocessing including Animal Cell Culture.(Ed. by A. Fiechter)
200p, Nov.'88 | 14,400._ |
| 5. Cellular Factors in Development and Differentiation: Embryos, Terato-
carcinomas, and Differentiated Tissues.(PCBR 284)
(Ed. by S.E. Harris & Per-Erik Masson) 246p, Dec.'88 | 12,600._ |
| 6. Development of the Vertebrate Retina.
(Ed. by B.L. Finley & D.R. Sengelub) 282p, Feb.'89 | 14,280._ |
| 7. Fibronectin. (Ed. by D.F. Mosher) 448p, Nov.'88 | 19,800._ |
| 8. Inositol Lipids in Cell Signalling. (Ed. by R.H. Michell et al.)
544p, Dec.'88 | 17,900._ |
| 9. The Mammalian Egg Coat: Ctructure and Function.(Ed. by J. Dieltl)
190p, 66 figs. Dec.'88 | 15,120._ |
| 10. Lysozomes. (by E. Holtzman) 418p, Feb.'89 pap./hard 7,080._/14,280._ | |
| 11. Ultrasturcture of Human Gametogenesis and Early Embryogenesis.
(Ed. by J. Van Blerkon & Motta, P.) 240p, '88 | 25,200._ |
| 12. Molecular Biology in Physiology. (Ed. by S. Chien) 200p, Dec.'89 | 14,800._ |
| 13. Principles of Cellular, Molecular and Developmental Neuroscience.
(by O. Steward) 280p, 128 figs. Feb.'89 | 8,880._ |

上記以外にも洋書、雑誌、バックナンバー等、多数取り扱っておりますので、
お気軽に御照会下さい。尚、カタログご希望の方は御請求下さい。無料で
お送り致します。皆様からの御注文をお待ち申し上げます。

あらゆる研究分野に対応できる多様なシステム。
 観察から撮影まで、可能な限り自動化を実現。



全自動写真撮影装置を内蔵。今までにない多様なシステム性と操作性で画像解析、分光測光などの将来的研究ニーズにも充分対応。電動6ヶ穴レボルバー、1×~100×まで完全ケーラー照明、写真撮影レンズ4種類内蔵、フィルム面と同じ像が観察できる一眼レフ式ファインダー、視野数26.5φの超広視野など随所に最先端のメカニズムが生きています。しかも、35mm2台+大版1台+TVカメラ1台計4台を同時装着できる3-WAYカメラ。鮮明な像を観察、確実に記録できます。

VANOX-S series

最高級写真顕微鏡オートタイプ

●電動6ヶ穴レボルバー ●対物レンズに連動した照明系の切換えは調光・開口絞り・視野絞りを自動完了 ●低倍率のピント合わせ ●カメラ選択 ●撮影レンズの切換えなどを自動化 (マニュアル操作も可)

VANOX-T series

最高級写真顕微鏡スタンダードタイプ

●電動6ヶ穴レボルバー ●NDフィルター11段階切換えによる自由調光 ●ボタンによるカメラ選択 ●撮影レンズ4種内蔵 (ターレット切換え)

AHBS-514

未知をひらく光学技術

〈仕様〉●超広視野接眼(視野数26.5φ) ●鏡筒長定常装置付 ●6ヶ穴電動レボルバー ●右下共軸ハンドル大型ステージ ●各種フィルター内蔵 ●撮影レンズ4種類内蔵 ●全自動写真撮影装置内蔵 ●35mmハーフサイズ撮影、スケール写し込み可 (オプション)

VANOX-S/VANOX-T

最高級写真顕微鏡システム

オリンパス光学工業株式会社
 オリンパス販売株式会社
 総代理店

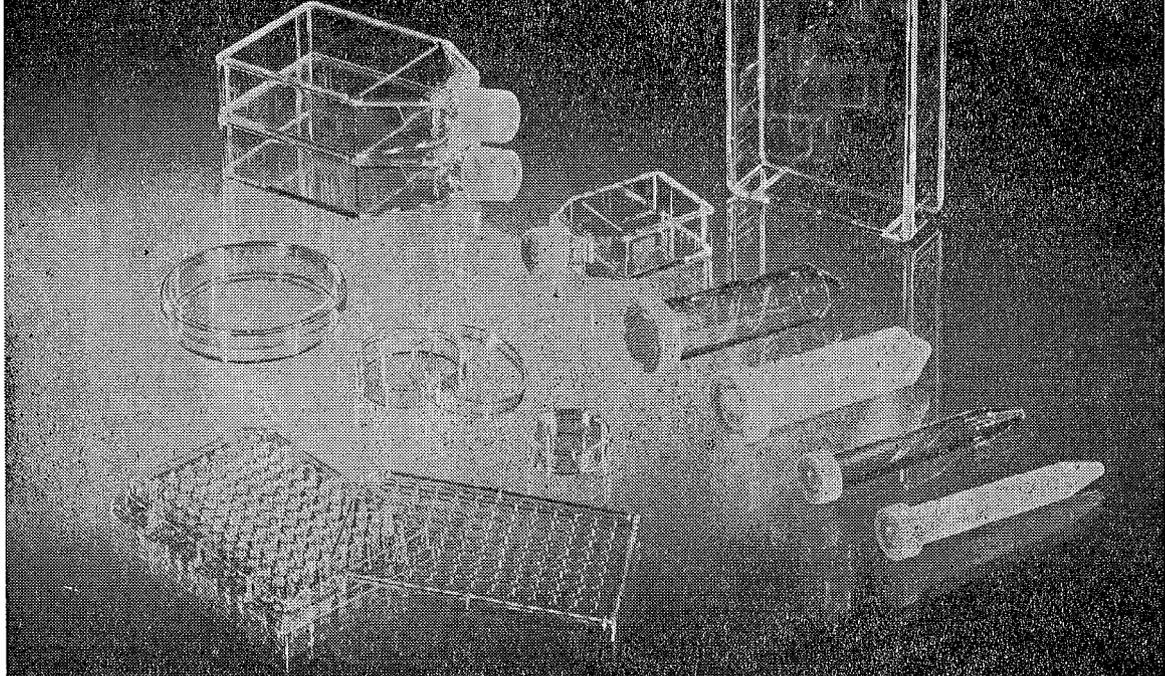
(株)三光オリンパス

カタログ・パンフレット等のご請求は 〒101 東京都千代田区神田小川町2-1-7 電話 03-292-3141(代)

CORNING

組織培養用プラスチック製品

ご満足いただけないCORNING組織培養用プラスチック製品は、無償でお取替えることをお約束します。



PYREX®のコーニングが提供する組織培養用プラスチック製品は
実験のバラツキを解消します。

●無菌生産

コーニングの組織培養用製品は、無菌環境で作られています。このため、バクテリアは勿論、機械油の蒸気やほこり等の付着もなく、培養特性が安定しています。

●フォームラック

コーニングの遠沈管・培養管には、フォームラック付きがあります。収納や運搬に便利なうえ、ガタツキがないため傷をつけることがなく、沈澱物が再浮遊する心配もありません。

●100%リークテスト

コーニングのフラスコは、全数圧力試験を行っております。また厚手に成形されていますので、リークやクラックの心配はありません。

●ダブルシールキャップ

ダブルシールキャップは、容器の口部内側と端部の2箇所ですりしるもので、漏洩を完全に防ぎます。

●クロスコンタミネーション防止

マイクロプレートは、孔が独立しており、クロスコンタミネーションの危険がありません。

CODE	品名	品種	個/パック	個/ケース	材質(本体)	表面処理	滅菌	備考
25000	ペトリ皿	35φ×10mm	20	500	ステロール樹脂	○	無菌生産	
25010		60φ×15mm	20	500	"	○	"	
25020		100φ×20mm	20	500	"	○	"	
25100	フラスコ	25cm ³ (70mℓ)	20	300	ステロール樹脂	○	無菌生産	カントネック、ダブルシールキャップ
25110		75cm ³ (270mℓ)	5	100	"	○	"	"
25120		150cm ³ (600mℓ)	5	40	"	○	"	"
25140	ローラーポトル	850cm ³ (2350mℓ)	2	36	ステロール樹脂	○	γ線	ダブルシールキャップ
25200	培養管	16φ×125ラック付	50	500	ステロール樹脂	○	無菌生産	ダブルシールキャップ
25310	遠沈管	15mℓラック付き	50	500	ステロール樹脂	-	γ線	許容遠心力1800G、ダブルシールキャップ
25330		50mℓラック付き	25	300	ポリプロピレン	-	E T O	" 5000G "
25820	マイクロプレート	24孔、平底、蓋付き	1	50	ステロール樹脂	○	γ線	
25860		96孔、平底、蓋付き	1	50	"	○	"	

●表面処理は、親水性と細胞親和性を与えるもので、コーティングではありません。
●ETOは、エチレンオキシードガス滅菌です。
●詳細はカタログをご請求ください。

岩城硝子株式会社

本社 住/ 千100 東京都千代田区丸の内3-2-3 (富士ビル)

本社販売部 ☎ 03(214)7401(代)

大阪支店 ☎ 06(362)6291(代)

名古屋支店 ☎ 052(211)3855(代)

九州支店 ☎ 092(451)5606(代)

広島支店 ☎ 082(248)0293(代)

札幌営業所 ☎ 011(221)3477(代)